



第37回日本診療放射線技師学術大会
第23回 アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会 (23rd AACRT)
第28回 東アジア学術交流大会 (28th EACRT)



第7回 東京への道 Go To TOKYO

多摩支部(13地区) 鮎川 幸司
 (公益社団法人東京都診療放射線技師会)



「大都会・東京のもう一つの顔」

Network Now 東京への道～Go To TOKYO～の第7回から第11回までは、東京都診療放射線技師会の各支部理事が執筆担当となっている。今回(第7回)は、私の担当する多摩エリアの紹介をしたいと思います。

東京のイメージは「とにかく人が多い」「高層ビルばかり」「コンクリートジャングル」…やはり大都会・東京といったところだろう。しかし、新宿から電車で1時間も乗ると、そこは東京のイメージとは懸け離れた景色となる。大自然が広がる東京・多摩地域。

多摩地域は、東京都のうち23区と島しょ部を除いた30市町村(26市3町1村)からなる。東京都の人口の3割の人が暮らし、面積は東京都のほぼ半分を占めている。多摩地域は右図のように5つのエリア分けがされており、各所に自然豊かな観光スポットを多く有している。ここでは代表的なエリアをいくつかご紹介。

右の地図、③北多摩西部エリアには、多摩地域の中で乗降客数が最も多いJR立川駅がある。駅周辺には大型商業施設が多く集まっているのだが、駅から10分も歩くと、そこには東京ドーム約40倍の広さを持つ「国営昭和記念公園」がある。園内には、プール・バーベキューエリア・庭園などさまざまな施設があり、四季折々の木々や草花を楽しむことができる。東京大会が行われる11月には紅葉が見頃を迎え、約200メートルのイチョウ並木は「黄金のトンネル」といわれる“映え”のスポットである。

⑤西多摩エリアは、面積の約80%を広大な森林が占めている。奥多摩や秋川渓谷など豊富な観光資源に恵まれており、登山やドライブ、バーベキューやキャンプなどを目的に多くの観光客が訪れる。

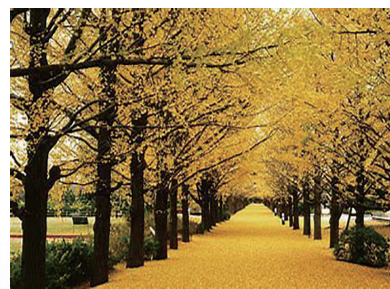
美しい山並みと溪流が魅力的な奥多摩のグルメといえばおそば！おいしいおそばができる条件は、冷涼な空気ときれいな水といわれるが、奥多摩の環境もこれにピッタリ。自然の景色を眺めながら食べる奥多摩のそば、コシがあり香り豊かなそばの味わいを奥多摩の生わさびがいっそう引き立てる。そしてそばといえばお酒！東京の酒どころ・多摩エリアは小澤酒造や石川酒造など多くの蔵元がある。そばと同様、奥多摩は良い地下水や伏流水に恵まれているため、多くのお酒が生産されている。東京都酒造組合では、多摩の5つの地酒を楽しむ「東京酒造」統一ラベルを紹介している。

大都会・東京を楽しむもよし、雑踏を抜け出し大自然の中で紅葉と食(酒)を楽しむもよし。両極の顔を持つこの東京が皆さまのご参加をお待ちしています。



多摩地区

- ①北多摩北部エリア ②北多摩南部エリア
 ③北多摩西部エリア ④南多摩エリア
 ⑤西多摩エリア



国営昭和記念公園のイチョウ並木



「東京酒造」統一ラベル



引用：東京都酒造組合